

総領事の活動報告(11月前半)

平成 24 年 11 月 16 日

◆マイアミ補習校運動会(11月3日)

11月3日午後、快晴の中で、補習校運動会が行われました。御父母の皆様(運営委・山澤秀行代表会長)が朝から運動場の整備や行事進行など全ての運営を分担しておられました。補習校の児童・生徒の皆さんが、紅・白の二手に分かれて盛り沢山のプログラムに参加し、元気で活躍していました。拝見していて、楽しい運動会でした。マイアミ補習校運動会での伝統となっているソーラン節も全児童・生徒が踊りに参加して盛大でした。例年同様、卒業生などによるボランティアの皆さんのご支援・御活躍もあり、マイアミ補習校の運動会ならではの良き伝統を感じました。



(左上写真:開会式、真中写真:

全児童・生徒によるソーラン節踊り、右上写真:在マイアミ日本総領事館太鼓チーム)

◆宮津・デルレイビーチ市姉妹都市 35 周年

10月末から11月初め迄、井上正嗣・宮津市長御夫妻、今井一雄・同市商工会議所会頭御夫妻が宮津市内の高校生 8 名及び引率教職員と共にデルレイビーチ市を訪問されました。井上市長御一行の訪問は、両市姉妹都市 35 周年を祝って行われたものです。

今年 2 月、マクダッフィー・デルレイビーチ市長夫妻、シュミット前市長、三堀さんらが宮津市



を訪問された折、併せて今回の井上市長一行の御来訪が計画されたものです。井上市長から、バイオマス(竹利用)研究開発、宮津市のおいしい水の日本国内や中国での販売、観光資源のブランド化など、地場産業育成に熱心な御様子をお伺いしました。井上市長御一行は、デルレイビーチ市議会を訪問されて、市民と議会の距離がとても身近な議場内設定に米国の地方議会制度の在り方を感じられたり、森上

美術館・日本庭園を視察されたりされて滞在を楽しまれた御様子でした。高校生達はホームステイも経験しました。 <左上写真:井上市長夫妻(前列左端のお二人)、デルレイビーチ市マクダッフィー市長夫人(前列、右から三人目)、今井同市商工会会頭(後列右から 4 人目) 写真:今井一雄会頭御提供>

◆鹿兒島市青少年交流使節来訪

11月13日午後、マイアミ訪問中の鹿兒島市の女子中学生の一行とマイアミ市姉妹都市交流委員会、学校訪問先のパルメット、テラ、ガリバー高校の校長や日本語教師、ホストファミリーの皆様方をお招きして、懇談する機会がありました。今年も鹿兒島市の公募試験に合格した8名の中学生の皆さんが、初めての外国での



滞在を大変に楽しんでいる様子でした。中学生の皆さんによる英語での自己紹介とAKBA48を真似たダンス・パフォーマンスの披露があり、参加者の皆さんから盛大な拍手がありました。中学生を受け入れて下さった各高校の皆さんは大変に日本に関心を持って頂いており、学校予算が厳しいなかでも、日本語・文化教育に力を入れて頂いていることも伺いました。(左写真:鹿兒島市

中学生一行)

国際公共政策研究センター田中直毅理事長の講演「日本の貿易政策と南北アメリカ」

11月15日、同センター田中理事長によるフロリダ国際大学及びマイアミ大学での講演がありました。日本の政治・経済情勢と併せて興味深かったのは、最近10年間の中国経済の高い成長は、過度な投資(GDPの65%比率)によるものであり、中国の国営企業(SOE)、民間企業(POE)は、負債として各々300兆円、100兆円規模を抱えていること、追加融資も困難な状況となっており、中国経済の信用危機(クレジット・クランチ)が近々予想されること、また、中国の恩恵を得ている中南米諸国も中国経済の今後のこうした動きに左右されるのではないか、という最近の研究成果の御披露がありました。実際に、中国による豪州・中南米の鉱山投資は、追加的投資が



停止されており、中国国内の民間企業では、輸出減による影響を、減産と雇用削減によって損失幅を少なくしているとお話です。SOEは中国の国営銀行から融資を受けてきているが、同融資の返還は、事実上していないといった驚く内容のご指摘もありました。日本企業について、ここ1-2年で脱工業化が進みつつあること、円高を利用したM&Aが一番に手取り早く、利益を上げる、との御指摘もありました。学生からの質問は、TPP(太平洋パートナーシップ)、尖閣諸島、少子高齢化と移民受け入れなどと多岐にわたりました。(了)

(在マイアミ日本総領事 川原 英一)